

仕様書

1. 件名

国際エネルギー機関・地熱実施協定(IEA-GIA) 関連会議・イベントの開催に係る事前準備・運營業務

2. 背景・目的

国際エネルギー機関・地熱実施協定(以下「IEA-GIA」という。)は、地熱技術の改良・開発、ノウハウ移転の促進、情報提供、地熱エネルギーの利点の発信等を通じ、世界各国の地熱エネルギーの利用促進を図り、気象変動緩和への貢献を行うことを目的として 1997 年 3 月に設立された。IEA-GIA には 15 の国や機関(13 ヶ国、1 国際機関、1 スポンサー)が参加しており、地熱開発に関する技術交流や情報交換が行われている。

年 2 回行われる執行委員会(以下「ExCo」という。)会議では、活動に対する議決が行われ、2013 年より ExCo 日本代表は JOGMEC(以下「機構」という。)が務めている。また特定の技術開発テーマについてはワーキンググループ(以下「WG」という。)を設立して活動を行っており、現在、地熱開発による環境影響、データ・情報収集、火山活動の起源、新たな地熱技術、冷暖房の 5 テーマで活動が行われている。WG 会議は通常 ExCo 会議と合わせて開催される。

世界の約6割の地熱発電所で本邦企業製の発電設備機器が納入されており、本邦企業が保有する技術力は高い。IEA-GIA 加盟国の地熱専門家の招聘に合わせて、地熱プラントメーカー(富士電機(株)川崎工場)の見学を行うことで、海外地熱専門家に我が国の技術を広くアピールする。併せて、IEA-GIA との共催で地熱ワークショップを開催し、海外と我が国の地熱専門家の関係強化・技術交流を促進する。

本業務は、上述の ExCo 会議、WG 会議、地熱プラントメーカー見学及び地熱ワークショップの開催に係る事前準備及び運営を委託するものである。

3. 契約期間

契約締結日から令和 5 年 12 月 15 日まで

4. 開催概要

(1) ExCo 会議(IEA-GIA 主催、一般には非公開)

- ・ 開催日程:令和 5 年 10 月 3 日(火)～10 月 4 日(水)
- ・ 開催場所:パシフィコ横浜(神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1)小会議室を想定
- ・ 参加者数:20 名程度(IEA-GIA 参加各国代表及び WG 参加者)
- ・ 使用言語:英語

(2) WG 会議(IEA-GIA 主催、一般には非公開)

- ・ 開催日程:令和 5 年 10 月 5 日(木)午前
- ・ 開催場所:ExCo 会議と同様
- ・ 参加者数:20 名程度(IEA-GIA 参加各国代表及び WG 参加者)
- ・ 使用言語:英語

(3) 地熱プラントメーカー見学 (機構・IEA-GIA 共催、一般参加者も募集)

- ・ 開催日程:令和 5 年 10 月 5 日(木)午後
- ・ 開催場所:富士電機(株)川崎工場(神奈川県川崎市川崎区田辺新田 1 丁目 1)
- ・ 参加者数:20~25 名程度(ExCo 会議及び WG 会議参加者、並びに海外からの地熱ワークショップ一般参加者)
- ・ 使用言語:英語

(4) 地熱ワークショップ(機構・IEA-GIA 共催、一般参加者も募集)

- ・ 開催日程:令和 5 年 10 月 6 日(金)
- ・ 開催場所:パシフィコ横浜(神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1)大会議室を想定
- ・ 参加者数:100 名程度(講演者、一般参加者等)
- ・ 使用言語:日本語-英語の同時通訳
- ・ 同日夕刻に意見交換会を実施

※IEA-GIA 事務局(ニュージーランド)との調整により、会場については基本的にパシフィコ横浜を想定している。

※地熱ワークショップのプログラムについては、機構及び IEA-GIA 事務局で案を作成中であり、完成し次第、受注者に共有する(令和 5 年 8 月中を予定)。

開催スケジュール

	10月3日(火)	10月4日(水)	10月5日(木)	10月6日(金)
参加者数	20名程度	20名程度	20名程度/ 20~25名程度	100名程度
午前	ExCo 会議	ExCo 会議	WG 会議	地熱ワークショップ (夕刻の意見交換会含む)
午後			地熱プラント メーカー見学	

5. 業務内容

(1) 業務実施体制の整備

事務局を設置し、業務全体を統括する事業統括責任者や、その他事業担当者等を配置し、さらに事前準備及び業務計画を作成して、国内外の関係者との調整等の円滑化を図る体制を整備すること。

なお、業務実施体制の整備にあたっては、予定や状況の変化に対しても迅速かつ柔軟に対応できるように考慮すること。

(2) 運営計画等の作成

ExCo 会議及び WG 会議の会場のレイアウト計画、地熱プラントメーカー見学の運営計画、地熱ワークショップの事前準備・運営・撤収計画、その他必要と思われる計画を管理し、併せて情報共

有を図るための方法について検討すること。また、地熱ワークショップへの一般参加登録及び運営に向けた各種準備作業を遅滞なく確実に実施すること。

(3) 問い合わせ対応等

地熱ワークショップの講演者の招聘に係る事務的な手続や連絡調整を行うこと。また、ExCo 会議及びWG 会議の参加者や、地熱ワークショップ講演者及び一般参加者等からの問い合わせには速やかに対応すること。

(4) 会場等の手配

ExCo 会議、WG 会議、地熱ワークショップの会場については、前述のとおりパシフィコ横浜の会議室を想定して、幅広い観点で設営及びレイアウトに係る企画・提案を行うとともに、参加者数を勘案した規模のものを手配すること。併せて、プロジェクター、スクリーン、マイク等の機材や、イベントサイン等の各種装飾、コーヒープレイク用の軽食や飲料等を手配すること。また、その他運営上必要なものがあれば、幅広い観点で提案すること。

なお、機材等の運営に影響がない場合は、会場に備え付けのものを使用することにより、効率化を図るものとする。

会場規模及び予約時間は、以下のとおり。

(ア) ExCo 会議及びWG 会議(令和 5 年 10 月 3 日(火)～10 月 5 日(木)午前)

- ・ 小会議室(収容人数 30 名程度のものを 1 室)
- ・ 10 月 3 日(火)及び 10 月 4 日(水)は 8:00～18:00、10 月 5 日(木)は 8:00～13:00

(イ) 地熱ワークショップ(令和 5 年 10 月 6 日(金))

- ・ 大会議室(収容人数 100 名程度のものを 2 室)
- ・ 1 室は 8:00～18:00、もう 1 室は意見交換会用に 18:00～20:00

(5) 参加者の宿泊先の手配

海外からの ExCo 会議及び WG 会議の参加者、並びに海外からの地熱ワークショップ講演者の宿泊先を、会議会場の付近で 25 室程度予約すること(団体割引があれば適用させること)。なお、海外からの参加者は前泊及び後泊が前提となることにも配慮すること。ただし、宿泊料金については宿泊者自らが宿泊先に支払うため、受注者による負担はないものとする。

(6) 地熱プラントメーカー見学に係る移動手段の手配

ExCo 会議及びWG 会議の会場と、富士電機(株)川崎工場との間の往復の移動手段として、30 名程度が同乗できる車両を 1 台手配すること。

(7) 地熱ワークショップの運営

(ア) 通訳者等の手配

日本語－英語の同時通訳者 2 名、通訳機器 100 台程度、通訳ブース 1 台の手配を行うこと。同時通訳者については、これまでに本ワークショップと同等規模の資源・エネルギー分野の国際会議や、カンファレンス等における通訳経験がある人員を手配すること(地熱分野の専門知識を有し、同分野に係る通訳経験がある者が望ましい)。

(イ) 配布資料の作成

100 部程度、印刷製本を行い配布すること。

(ウ) 連絡体制等の構築

地熱ワークショップ当日の運営にあたっては、トランシーバー等を使用して随時関係者間で連絡がとれる体制を構築すること。また、会場におけるセキュリティは万全を期すようにすること。

(エ) 地熱ワークショップ後の意見交換会の運営

令和5年10月6日(金)夕刻(地熱ワークショップ後の18:00~20:00を想定)に、地熱ワークショップの参加者100名で意見交換会(立食形式)を行って、海外と我が国の地熱専門家の交流や情報交換を促すことにより、ネットワーク形成や海外における地熱資源開発の現状把握等を図ることとする。幅広い観点でその設営及びレイアウト、並びに各種必要物品に係る企画・提案してそれらを手配するとともに、事前準備及び撤収作業を行うこと。

なお、1人あたりの飲食費の単価は、15,000円を上限とする。

6. 納入物

下記(1)及び(2)を作成し、納入すること。なお、受注者に起因する重大な誤りが納入物にあった場合、受注者において回収・修正・再作成等の必要な措置を講ずること。

(1) 地熱ワークショップ開催に係るニュースリリース案

ニュースリリースを機構ホームページ上で公開するため、その案を機構が指定する様式で日本語と英語の両言語にて作成し、期限までに電子媒体で納入すること。その際、地熱ワークショップのイメージをつかむために最適と思われる写真を選定し、挿入すること(参考:国際地熱コンファレンス~地熱開発 これまでの10年、これからの10年~を開催し、主要地熱開発国の動向について情報交換 https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_000152.html)。

納入期限及び納入場所は以下のとおり。

納入期限:令和5年10月11日(水)

納入場所:独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 地熱事業部

(2) 実績報告書

業務における実施内容について、実績報告書を作成し、期限までに電子媒体で納入すること。

納入期限及び納入場所は以下のとおり。

納入期限:令和5年11月30日(木)

納入場所:独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 地熱事業部

7. 業務実施にあたっての注意事項

- (1) 本仕様書に記載の内容以外で、他に必要と判断される事項がある場合は、幅広い観点で企画・提案すること。
- (2) 本仕様書に記載の業務全般を実施するにあたっては、機構及びその他関係者と逐次協議をしながら進めていくこと。
- (3) 本業務により知り得た情報は、許可なく外部に漏らしたり他の目的に使用したりしないこと。
- (4) 本業務により発生した一切の著作権、著作物については、すべて機構に帰属させるものとし、著作者人格権の行使は行わないものとする。
- (5) 本仕様書に記載のない事項または本仕様書について生じた疑義については、機構との協議の上で解決すること。

8. その他

- (1) 本仕様書において手配を求めている会議会場、移動手段、その他各種サービス等にキャンセルが見込まれる場合に備え、事前に機構に対してそれら全てのキャンセルポリシーを提示すること。
- (2) 参加人数の変動等により、本仕様書に記載の準備品目の種類や費用に変更が生じる場合があるが、その際は変更契約を締結する形で対応する可能性がある。

以 上